



BERN

005

Play! Safe! Look Good.

親子でヘルメットをかぶろう！



bern

バーン
bern は、アメリカのヘルメットブランド。親子おそろいでかぶれるヘルメットがあれば、自転車やスケートボードなど、一緒に過ごす時間もいっそう楽しくなるはず。今回は、モデルとして活動しながら、スケートボードをこよなく愛する大柴裕介さんと青依くん親子の登場です。



ぼくもスケーターになりたいな！



Riding in the Skatepark



パパとおそろいのヘルメットをしっかりとる青依くん。

バランスよくすべれたら、カッコいいね。



ヘルメットは大事な頭を守ってくれるよ



bern のヘルメットは、スケートボードはもちろん、さまざまなシーンで活躍します。



スケーターでもあるパパが先生なら、転んでも大丈夫!

息子が3歳のときから、スケートパークと一緒に遊びにくようになりました。bern のヘルメットは、勢いよく転んでも、大けがをしないで守ってくれるという安心感があります。まだ習得していないトリックに挑戦したいなら、必ずヘルメットはかぶったほうがいいですね。転んでもヘルメットのおかげで大丈夫だったら、明日もまたトライできるし、ずっとスケートライフを続けることができるから。僕自身がスケートボードの楽しかたを知っているし、転んだあとの諭しかたもわかるので、僕が手本になってできることを教えてあげたいですね。



大柴裕介さん&青依くん

モデル、ミュージシャン、デザイナーとして活躍する大柴さんは、現在、アパレルブランド「ate」、また、2013年より東京・深川にてハウススタジオ「debolbe Studio&Warehouse」を運営しています。青依くんは、自作の歌を歌うのが好きな5歳の男の子です。今回撮影にご協力いただいた「BASHI BURGER CHANCE」は、スケートパークが併設したハンバーガーショップ。スケートボードを通じた仲間とのオープンなコミュニティがつけられ、大柴さん親子も遊び場として通っています。

写真：福田真知子 撮影協力：BASHI BURGER CHANCE

bern

さまざまなシーンで活躍する親子でかぶれるヘルメット

2004年にアメリカ・ボストン郊外で誕生したヘルメットブランド「bern」。安全性はもちろん、デザイン性やフィッティング性を重要視してつくられたヘルメットは、さまざまなシーンに合わせてかぶることができ、オールシーズン快適に使用できるよう取り外し可能なインナーも装備。日本人向けにアレンジされた快適なフィッティングのJapanFitモデルも多く、キッズ、レディースモデルなど幅広いラインナップで展開しています。

bern 2016 Collection

bern のキッズ用ヘルメットは、独自のテクノロジー「ZIP MOLD」を搭載し、薄い仕上がりながらも高い耐衝撃性と、軽量で快適な使用感を実現。また、汗をかきやすい子どもたちのことを考え、取り外し可能なバイザーを装備し、汚れたら洗濯も可能です。自転車はもちろん、ランバイクからスケートボードまで、さまざまなシーンで大切なお子さまをサポートします。



MEN'S
WATTS ¥9,800 (税抜)
サイズ：S ~ XXL

先鋭的なツバつきヘルメットとして圧倒的な人気を誇る WATTS は、ブランドの黎明期から続くトレードモデルのひとつ。



WOMEN'S
LENOX ¥9,800 (税抜)
サイズ：M ~ L

洗練されたシルエットと女性を意識したカラーが目を引く LENOX。いつもおしゃれでいたい女性のためのレディースモデル。



KID'S
NINO ¥9,500 (税抜)
サイズ：XS ~ S, S ~ M

シンプルでスタイリッシュなデザインを落としこんだスタンダードなヘルメット。男の子用モデル NINO。

【お問い合わせ】 YTS ☎ 03-6415-6818 www.ytsamuse.com/brand/bern